

磐梯町 議会だより

第 191 号

平成20年 8 月

発行 磐梯町議会
福島県耶麻郡磐梯町
大字磐梯字中ノ橋1855
☎ 0242-74-1219
編集 磐梯町議会広報委員会



町道大寺小中野線開通式

6月定例会

* 条例改正・補正予算・請願	2ページ
* 議案審議	3ページ
* 一般質問	4ページ
* 行政視察調査	12ページ
* 臨時議会	13ページ
* 議会の動き	14ページ

6月定例会

6月定例会は、6月13日から19日までの会期で開催され、条例改正や補正予算と請願等が審議の結果、いずれも原案通り承認、可決されました。

人権擁護委員候補者の推薦

前委員の任期満了により西部地区より小林彌一氏（上西連）が推薦されました。



請願

- ・住基ネットの見直しを求める請願
（住基ネット差し止めを求める喜多方の会）
- ・義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の充実を求める請願
（福島県教職員組合）

意見書

- ・住基ネットの見直しを求める意見書
- ・義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の充実を求める意見書
- ・保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書
- ・ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書

国民健康保険条例の改正

後期高齢者医療制度の導入や平成19年度分の所得の確定に伴い国民健康保険税が改正されました。

(単位：円)

区分	医療分		支援分		介護分	
	19年度	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度
均等割	22,581	16,121	—	8,880	10,540	9,988
平等割	20,218	12,857	—	7,082	6,037	5,626
所得割	5.76%	4.26%	—	2.35%	1.65%	1.71%
資産割	23.06%	16.53%	—	9.11%	8.00%	7.48%

※応益割50%、応能割50%

補正予算の概要

会計	補正額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	2億1,046万8千円	30億9,971万4千円	固定資産税の確定、国庫補助金の増 まちづくり交付金事業費の補正 担い手育成総合支援事業費の増
国民健康保険特別会計	2,100万2千円	4億7,755万9千円	国民健康保険税・繰越金の補正 後期高齢者支援金・前期高齢者納付金の補正
簡易水道特別会計	0	1,951万1千円	水質検査委託料の補正
公共下水道特別会計	70万円	2億2,688万5千円	残土処分地整地費の増
個別生活排水事業特別会計	3万9千円	384万5千円	受益者分担金の増

議案の審議

総務文教厚生委員会

経済環境委員会

□ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

Q 対象人数は

A 1688人でその内596人、222世帯が後期高齢者医療制度に移りました。

Q 軽減措置の対象人数は

A 均等割で7割軽減232人、5割軽減85人、2割軽減123人。平等割では7割軽減159世帯、5割軽減36世帯、2割軽減63世帯です。

反対討論

後期高齢者医療制度の影響を受けるこの改正に反対である。

賛成討論

他町村と比較して負担の軽減が図られている。

□ 一般会計補正予算
Q まちづくり交付金事業費の内容は

A

駅前広場東口測量設計、石畳参道測量設計、駅自由通路詳細設計、大正浪漫館基本設計、道の駅物産館設計、門前町駐車場測量設計、駅広場水路設計、参道整備工事、道の駅舗装及び照明工事、物産館建築工事です。

Q 固定資産税の歳入増額の内容は

A 企業の償却資産分であり、当初予算編成時点での把握が困難であった部分です。

□ 簡易水道特別会計補正予算
Q 法正尻のみ飲料水供給というのはなぜか

A

給水人口が100人以下であったためですが、事業認可に伴い一本化され、磐梯町は、すべて簡易水道となった。会計についても統合に向けて検討中です。

Q 妙法原及び源橋簡易水道の水質検査費用が減額されたが、検査項目を減らしたのではないか

A 内容は変更せず見積り合わせの結果によるもので、現在の検査結果も問題なしです。

□ 公共下水道特別会計補正予算
Q 整地工事箇所への農地転用についてはどうなっているか

A

問題なく処理されている。

□ 個別生活排水事業特別会計補正予算

Q 個別生活排水の放流先の協議はどうなっているか

A 土地改良区との協議は法的には必要ないが、連携を図りながら推進していきます。

Q 個別生活排水の接続数及び事業の進め方は

A 現在の接続数は34件のうち26件であり、集合処理との整合を取りながら進めてまいります。

町政を問う (一般質問)

(登壇順)

— 遠藤将夫 議員 —

1. 公共施設環境整備（幼稚園駐車場）整備について
2. 金堂の復元工事に伴う環境整備について
3. 町内の道路整備について

— 吉田徳昭 議員 —

1. 公共工事の発注計画と工期の進め方について
2. 子供達が安全かつ安心して登下校ができる通学路の整備と学校安全体制整備について

— 鈴木貞男 議員 —

1. 子育て支援について

— 鈴木久一 議員 —

1. 道の駅と町の観光物産品との関係について
2. 歴史、文化教育と子供達の関わりについて

— 佐藤貞夫 議員 —

1. 介護施設の充実について
2. 金堂完成における町の対応と今後について

— 鈴木和意 議員 —

1. 後期高齢者医療制度施行に伴う医療保険について
2. 町への請願事項の取扱いについて
3. 農業振興のまちづくりについて

— 佐藤孝則 議員 —

1. 景観形成の計画策定について

— 穴澤勝俊 議員 —

1. ごみの不法投棄について

一般質問



— 遠藤 将夫 議員 —

公共施設周辺の舗装をすべきと考えるが

(町長)

財政状況等を照らし合わせながら敷き砂利などで対応してまいりたい

【質問】 役場庁舎付近の道路環境、美化が進む中で公共の施設である幼稚園の入口駐車場の舗装が未舗装のために雨の日の道路を汚しているのが、幼稚園の入口に駐車した車であります。公共施設周辺の美化のためにも、舗装をするべきと考えるが町長の考えをお伺いします。



幼稚園駐車場

【答弁】 大変厳しい財政状況でありますので、すぐに駐車場すべての部分を舗装にするということは、現段階において大変厳しい状況です。残りの普通財産の利用計画とも合わせて一体的な整備を効率的に行ないたいと考えています。当面、幼稚園の駐車場については、財政状況等を照らし合わせながら敷砂利などで対応してまいりたいと考えています。

金堂の復元工事に伴う環境整備について

答弁 町長

【質問】 この春に完成を迎えた慧日寺金堂の復元工事に対して4月末から5月の連休に町内外からの見学者の数の多さに改めてびっくりしました。見学者の中に不

満を言っている人もおり、内容は駐車場の不足と地区の案内板、パンフレット、食堂、休憩所、トイレの不足をあげているようであります。金堂の公開は受け皿の不備、お客を呼べる状況ではなかったのではないかと感じます。今回このように、お客が来る施設は受け皿の充実したところで、配慮すべきと考えますが町長の考えをお伺いします。



現在の臨時駐車場

【答弁】 慧日寺跡金堂の一般公開4月25日から開始し、6月10日現在で、2万2613名を数えています。

この状況については本来に予期せぬ良い結果であり、いたらないところは一つひとつ改善を図って気持ちよく磐梯町に来ていただくようにしていくことが何よりも大切な事と思っております。

昭和62年に磐梯山慧日寺資料館が開館して以来、多くのお客さんを受け入れた経験はなく、さまざま面で不便をおかけしていると思っております。そうした点を十分踏まえて、予算を有効に活用しながら、トイレ、案内誘導看板等を万全の態勢を期しながら、磐梯町史跡慧日寺を訪れる方々に、磐梯町の歴史、文化を学んで、そして今に生かして将来に伝えていただけるような、慧日寺史跡にしてまいりたいと考えています。

町内の道路整備について

答弁 町長

【質問】 今年3月末での道路特定財源の暫定期限切れから、4月の衆議院議員での再可決により10年間の延長となり、来年度から一般財源化にされようと思いますが、一般財源化された場合は町長の裁量で運用できるようになるのか、町内の今後の道路計画はどのようになっているのか、現在途中で工事が止まっている部分が一先きに実施できるのか町長の考えをお伺いします。

【答弁】 国会において道路特定財源の再可決が行なわれ平成21年度から、一般財源化され、10年間の延長となったところであり、まだ具体的に国の方から説明等も受けておりませんが、具体的な組み入れの内容が示されておりませんので、示された段階でご報告したいと考えています。

一般質問

— 吉 田 徳 昭 議員 —



公共工事の発注計画とまちづくり交付金事業の実施予定を示せ

(町 長)

まちづくり交付金事業は石畳参道と駐車場の整備を行なう

【質問】 平成20年度の主な事業で公共工事の発注計画をまとめられたが、その発注件数と内容を明確にし、優先順位と工期の実施計画について、具体的にどのようなようにして進めていけるのか伺います。

また、駅東口周辺整備事業、若者定住施策推進事業、道の駅・農産物加工施設の建設整備事業、ふるさとの森遊歩道整備、まちづくり推進事業、慧日寺跡整備事業等々を含めて、町長はどのような考えを持って進めていけるのか。

【答弁】 補助事業等については補助金の決定後に速やかに発注できるよう計画的に準備を進めております。

駅東口自由通路整備事業は本年度は詳細設計をし、工事着工に入り、2ヶ年継続事業により東口通路を整備します。

第二小跡地の若者定住住宅は、国の地域住宅交付金を活用し整備する計画です。

道の駅整備事業は、県で整備する簡易パーキング及び公衆トイレ、中山間地域総合整備事業で整備する活性化センター、そしてまちづくり交付金事業で町が整備する物産館の4施設で構

成され、県と協議を進めています。

森林遊歩道整備は、毎年委託契約をし、磐梯山・厩嶽山等の草刈り、倒木撤去を行なっています。

史跡等の総合整備活用推進事業は、中門の復元に中門が完成し、石敷、ガイダンス等を21年度に整備します。

まちづくり交付金事業では石敷参道の整備、駐車場の整備を予定しています。



復元工事中の中門

子供たちが安心して教育を受けられる環境整備が必要ではないか

答弁 教育長

【質問】 通学路の整備と学校安全性整備の推進のために、通学路・公園・河川・地域の遊び場等危険箇所の点検と対策について、PTAと地域安全対策連絡協議会などによる危険箇所の点

検査察、巡回活動の実態と行動内容を伺います。

また、歩道の安全対策と横断歩道の道路標識が白線で標示されているか、速度制限標識等、安全対策を推進されていけるのか伺います。



横断中の通学児童

【質問】 スクールガードリーダーによる学校巡回指導と、子供たちを犯罪被害から守る取り組みは大変重要であり、緊急の対策が必要と考えます。

子供たちが安心して教育を受けられる環境の整備はもとより、通学路で児童が巻き込まれる事件・事故・学校への不審者の侵入など、事前に防止する対策の取り組みについての考えを伺います。

【答弁】 通学路については、道路幅員の関係上やむなく路側帯を歩行したり、一部側溝蓋の上を歩行せざるを得ない状況になっていることとはご指摘のとおりです。

各学校教職員及び保護者に毎年通学路の危険箇所の確認、点検を行ない機会あるごとに子供達への注意を促し、学校独自で表示をしております。今後教育委員会もなお一層安全に通学できるような、指導を徹底してまいります。

【答弁】 子供達の安心、安全が確保される環境整備について、平成18年より、各学校においてPTAを中心に子供見守り隊が組織され、地域のかたがたのご協力もいただきながら活動しています。今年度は文部省の事業である地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の指定を受け、スクールガードリーダーとして大寺二区日下忠直氏が委嘱され、学校周辺の巡回や通学路の安全確認なども行なうたいっています。

さらに116万円の県補助金が確定し、見守り隊のウェア、帽子、腕章、自動車のステッカー等を購入、配置をし子供達を取り巻く犯罪の抑止効果を固める取り組みを始めたところで

一般質問



鈴木貞男 議員

子育て支援について

(町長)

今後も検診を充実させていく

【質問】 子育て支援の一環としての妊婦の検診に対する助成について伺います。各自治体ではそれぞれの支援策を講じているようですが、磐梯町は現在どのような支援策を講じているのか、また今後どのような考えなのか伺います。

【答弁】 妊婦健康診査につきましては、妊娠中の異常を早期に発見し、母体と胎児の健康のための健康診査となっております。

検診に対する町の助成につきましては、第1子、第2子は前期、後期、その他の3回の計5回を全額町で助成しています。

前期検診は12週前後を目安とし、検診、血圧測定などの一般検診にC型肝炎工

イズ検査を追加し、町負担の費用は1万4830円です。

後期検診は、30週前後を目安とし、一般検診に超音波検査を追加し、町負担の費用は1万2660円となっております。

その他の3回については一般検診であり、町負担の費用は4千円となっております。

第3子以降については前期、後期検診を含め15回まで町負担となっております。

なお、6回目以降は、費用の4千円が全額県補助となっており、平成19年度実績では受診者延べ数18人で7万2千円の交付額となっております。

また、平成19年度実績で約50万円が町の支出となつ

ています。

町といたしましては、今後も赤ちゃんや妊婦さんのためにもしっかりと検診が受けられ、出産後も健康に過ごしていただける環境整備、そして若者定住、少子化対策に対応してまいりたいと考えているところであります。



子どもの検診

次回の定例会は9月上旬に行なわれます。
ぜひ傍聴においでください。



※くわしい日程は後日
ちらしにてお知らせします。

一般質問

— 鈴木 久 — 議員 —



道の駅の開所に伴い、オリジナルな商品開発が急務その対策を示せ

(町 長)

活性化施設を、積極的に活用しながら加工品の開発、そして研究を行ない、一日も早く商品化を目指す。

【答弁】 物産館は、道の駅の核となる地域交流を目的とした施設で、地場産品の展示販売はもとより、観光



道の駅イメージ

【質問】 道の駅のオープンに伴い、観光みやげ品の業者や他の物産品が販売コーナー等に進出する事は必ずである。当町の物産土産品が主流となる店舗作りで町の活性化を図ることが道の駅の真の姿と考えます。それには町の振興計画にも取り上げているが、オリジナルな商品開発が必要であり、その対策を示されたい。

客あるいは地域の方々の休憩の機能、情報発信機能を併せ持った施設であり、当町の活性化に大きく寄与するものと期待しているところです。

近年観光客の地域の物産品に対するニーズなどを考えても、訪れた旅先でしか購入できない、その地域ならではの地場産品に人気が集まっていると認識しています。

当町にはお菓子製造業やおみやげ品等に関わる業者がおりません。オリジナルの商品開発には独自の手法と時間を要するものと考えており、これから建設される活性化施設を積極的に活用しながら加工品の開発、研究を行い、一日も早く商品化し、道の駅に寄っていただいた方々に磐梯町ならではの産品・商品を提供していきたいと考えています。

歴史文化教育と子供達のかかわりについて

答弁 教育長

【質問】 慧日寺跡金堂の落成と共に各方面からの当町の文化行政に関する注目度は多大なものがあります。それだけに、特に町の未来、発展を担う子供達への慧日寺関連の歴史文化教育の指導方針と方法を具体的に示されたい。



金堂を見学する磐中生

【答弁】 未来を担う子供達にとって郷土の歴史、文化に関心を持ち、また誇りを持つことは子供達の健全な成長にとりましてきわめて重要なことと認識をしています。

教育委員会としては、平成16年度からスタートした幼小中一貫教育の計画のもと、郷土の歴史、文化について幼稚園、各小中学校のカリキュラムに具体的に位置づけ、現在、鏡意教育に取り組んでいるところであります。

また、社会教育では、磐梯っ子クラブの年間活動の中にも史跡慧日寺跡を中心とした活動計画を位置づけ、今年度もすでに実施したところであります。

今後も学校教育、社会教育を通して町の歴史や文化に理解と誇りを持てるよう、歴史、文化教育の一層の充実のため取り組んでまいります。

一般質問



— 佐藤 貞夫 議員 —

介護施設への入所困難の状況をどう感じているか

(町長)

保健医療福祉センターと連携をとり対応する

【質問】 長期的な介護施設

への入所を希望しながら、なかなか実現せず長い待機を余儀なくされて困窮しているかたがたがいます。

高齢者の間では、施設への入所が困難な状況に自分の将来に不安を訴える声がよく聞かれます。

このような介護施設を取り巻く現状をどのように感じているか伺います。

【答弁】 特別養護老人ホーム

の入所は、従来は申込順でありましたが、現在は要介護度など緊急性と必要性が高いと認められる者を優先的に入所させるよう制度運営が改正され、介護及びリハビリテーションの必要の程度や、家族等の状況を勘案した入所基準となっております。



介護老人保健施設「りんどう」の居室

おります。

町は、入所希望があり優先的要件に該当せず入所待機をされているかたには保健医療福祉センターと連携をとり、訪問介護、通所介護、短期入所の利用、介護者の相談業務などで対応してまいります。

金堂完成における町の対応と今後は

答弁 町長

【質問】 金堂の完成と一般

公開に合わせて、トイレや駐車場の整備が行われるべきものができていなかったと思われま。

早急にこれらの改善を図り汚名を返上しなければならぬと思えます。

【答弁】 一般公開をしたところ

想像してなかったほどの多くの見学者が訪れ、対応すべきところは一つひとつ対応してきています。

【質問】 資料館や金堂の内

外の掃除は担当を決めて対応すべきではないか。

【答弁】 資料館周辺及び史跡周辺の清掃、草刈り等は年間計画によって実施しています。

【質問】 蓮の池を整備して蓮が咲く池に戻す計画を持つべきではないか。

【答弁】 資料館庭園全体の修景を生かした中でこの蓮池も含め、管理・補修をしまいたい。



慧日寺資料館庭園

【答弁】 ボランティア観光案内人の育成計画は町が主体性をとり、検討をしてまいたい。

【質問】 金堂の文化団体などへの開放を図ってはどうか。

【答弁】 金堂の文化団体などへの開放は、金堂内部の活用は制約があるが、金堂周辺の活用については十分可能性がある。文化的行事など本物指向の活用を考えてまいります。

【質問】 金堂を起点とした修験道の整備を考えてはどうか。

【答弁】 修験道の整備計画は、まだ中心伽藍をはじめ多くの史跡の発掘調査や史跡周辺整備等が数多く残っておりますので、年次計画の中で史跡整備と合わせて、一つひとつ整備を検討してまいります。

【質問】 ボランティア案内人の育成計画を持つべきではないか。

一般質問

— 鈴木 和 意 議員 —

後期高齢者医療制度の運用について問う



(町 長)

制度を遵守し、適正に運用していく

【質問】 後期高齢者に新たに発行される保険証については、国保と同様長期滞納と見なされれば保険証の返還を求められることは、さまざまな疾病を抱える老人家庭において命に関わる問題です。
広域連合に対し保険証の返還をしないよう、さらに国民健康保険においても保険証返還と資格証明書の発行を中止すべきです。

【答弁】 後期高齢者医療制度における滞納者に対する取り扱いにつきましては、県後期高齢者医療広域連合により運営が行われます。保険証の返還や資格証明書の発行となる過程においては十分な納付相談を行なうてからの実施とし、相談に応じない、負担能力があるにもかかわらず納付しない、意図的に滞納処分を逃れようとするなど、他の被保険者との均衡を著しく欠く人を対象とします。
国民健康保険における保険証の返還と資格証明書の発行も、基本的には後期高齢者医療制度と同じです。

【質問】 国保加入者の約半数に近い高齢者が国保から切り離されますが、今まで積み立てた国民健康保険の基金1億400万円の運用をどうするのか、さらに今後の積立金制度のありかたについて町長の方針を伺います。

【答弁】 基金は医療費の大きな値上げや流行病の発生等による保険給付に要する費用に不足が生じた場合の資金です。
今回の基金取り崩しは、制度改正に伴う軽減措置の対処法としての一時的なものであり、継続的な国保税引き下げのものではありません。また、後期高齢者医療に移行した分には使用することはできません。

今後の国保運営において、有効かつ適正に運用してまいりたいと考えております。

請願事項の取扱いについて

答弁Ⅱ町長

【質問】 平成12年6月定例会にて採択された、非核平

和自治体宣言をすべきと考えるが、町長の所見を伺いたい。

【答弁】 非核平和自治体宣言につきましては、当時議会全体の意思確認として議会における採択のみで措置請求は行なわれなかった経過であると承知していません。法的には任意事項であり、そのままになったものと思います。

【質問】 昨年6月定例会において採択された町道認定について、どういう進め方になっているのか。

【答弁】 上西連地区の町道認定については、できるだけ早い時期に町道の方針を示し報告いたします。



青々と育つ稲

農業振興のまちづくりについて

答弁Ⅱ町長

【質問】 今日の国際食糧事情は地球温暖化などの影響で不測の事態になりかねない。

一方国内においては、わが国の今の農業政策では農業は立ち行かなくなってしまうと考えると、国の農政の転換を求める絶好の機会だと思えます。

このような中で、町独自の農業振興を図ることはまさに緊急の課題であると考えますが、町長の所見を伺いたい。

【答弁】 農業は、磐梯町の基幹産業でありますので、現在国が進めている、水田経営所得安定対策、農地・水・環境保全向上対策をしっかり実践することが肝要と考えております。

一般質問



— 佐藤 孝 則 議員 —

景観条例を作成して秩序あるまちづくりを進めるべき

(町長)

県の新景観条例を踏まえ、独自の条例を策定する

【質問】 磐梯町は磐梯山を代表する美しい自然環境、そして金堂復元で脚光を浴びている史跡慧日寺など、自分の町を誇れるものが多数あります。

町民共通の財産であるこれらを町民全員で守り育て、次の世代に渡さなければならぬと思います。

まちづくりは行政が行う点と整備だけでなく、地域が守り育てる面の整備が必要だと思えます。

まちづくりは町民や事業者の皆さんの理解と協力が不可欠です。そして大変時間がかかると思えます。

町が行なっているまちづくり交付金事業の成果を長く続けるためにも、優れた景観をつくり、守っていか

なければならぬと思えます。

そこに住む人々や町を訪れる人々に潤いや安らぎなど、心の豊かさが感じられるようなまちづくりが今必要だと思えます。

町は今後景観形成の基本計画、そして景観条例を作成して、町民や事業者の皆さんと一緒に秩序あるまちづくりを進めるべきと思えますが、町長の考えを伺います。



門前町イメージ

【答弁】 磐梯町におきましては、磐梯町景観環境要綱及び福島県景観条例により景観環境の維持向上に努めています。

景観に関する事業としては平成16年から18年までサイン計画により、磐梯山、猪苗代湖、周辺景観形成重点地域に設置される標識及び案内板の統一、及び必要な屋外広告物の撤去を実施してきました。

また、現在福島県において、福島県景観条例に代わる景観法を活用した景観形成施策を策定中であり、現行の景観条例を継承する形をとりつつ強制力が付加される内容となっており平成21年度には福島県の新景観条例となる予定であります。



金堂へ続く街並み

町といたしましてはこれから新条例の内容を踏まえ、地域の自然、歴史、文化等を考慮した独自のまちづくりを目指し町民や事業者の皆様がたのご意見等をちょうだいし、町民参加の町独自の基本計画や条例等を策定し、まちづくりを構築していきたいと考えています。

みなさまの声をお寄せください！

磐梯町議会事務局

TEL 74-1219 FAX 73-4301

E-mail: bandai-gikai@town.bandai.fukushima.jp



一般質問

— 穴 澤 勝 俊 議員 —



ゴミの不法投棄を減らすには

(町 長)

保健委員の皆さんの意見を聞きながら検討



投棄されたゴミ

【質問】 近年、県道および町道さらには、林道周辺には廃家電製品4品目（エアコン・冷蔵庫・テレビ・洗濯機）の不法投棄が見られます。また、資源ごみ（あき缶・ペットボトル・プラスチック類）などのポイ捨てが増加傾向にあります。

磐梯町も慧日寺の金堂復元により、今以上の観光客が予想されます。観光客にきれいな町、清潔な磐梯町を印象付けるには、ごみのない町を目指さなくてはならないと思います。そこで各地区の看板設置場所の点検を行政指導で実施してはどうか。

【答弁】 不法投棄につきましては道路わきへのポイ捨てをはじめ、人目につにくい沢や山林など町内の広範囲にわたっています。現在、ごみをごみを呼ぶことから、ごみを捨てられない環境づくりとして、県道や町道などのごみの不法投棄箇所看板を設置しておりますが、設置場所については、地域の保健委員の皆さんの意見を聞きながら検討してまいります。

【質問】 環境省の調査結果によりまずと調査対象自治体全1836市区町村で、前年と同じ期間の不法投棄台数のデータを有している自治体について比較すると、前年同期比10・5%減と実態が公表されました。不法投棄台数が減少した自治体があったその主な理由は、不法投棄対策の強化が53%（不法投棄対策予算の増加・パトロールの実施・監視通報体制の構築・監視カメラの設置等）を示

ています。また、家電リサイクル制度の普及啓発の効果による住民の意識や理解の向上も53%示しています。

この結果を見ますと、やはりごみ問題は町全体で取り組まなければならないと考えます。現在、不法投棄の看板は各地区に設置されていますが、新たにポイ捨て禁止看板をイラスト入りで作成してはどうか。また、年2〜3回の巡回パトロールを町全体で地区ごとに実施してはどうか。町長の考えを伺いたい。



保健委員によるパトロール

【答弁】 今後、被害の大きな県道などを調査し、効果が上がる看板の設置も含め検討してまいりたいと思います。

巡回パトロールについては、町では不法投棄されやすい場所を中心に定期的なパトロールを行っており、さらには県から委嘱を受けております産業廃棄物不法投棄監視委員による巡回、郵便局・東京電力との協定による情報提供を受け、対処しているところであります。また、保健委員のかたがたの協力のもと、全体パトロールを年1回実施しています。また、不法投棄の監視につきましても、自分たちの町をみんなで監視し、お互いに地域を守る取り組みをすることが最も重要であると考えておりますので、各行政区においても定期的なパトロールをお願いいたします。

行政視察調査

特徴あるまちづくり、地域活性化対策に積極的な取り組みをしている先進地を総務文教厚生委員会と経済環境委員会合同で視察し、研修してまいりました。

研修日 7月9日～11日
研修地 山梨県南巨摩郡身延町

身延町

山梨県南部、富士川を中心に広がりが豊かな自然に抱かれた町の随所に観光地や文化・歴史遺産が点在し、伝統工芸や特産品が育まれてきた。身延山久遠寺や下部温泉、本栖湖を有する観光の町である。

平成16年に下部町、中富町、身延町が合併。人口は約1万7千人で昭和40年から見ると47.8%と大幅に減少している。高齢化率37.4%。議員数20人。

【身延山久遠寺の門前町】

日蓮聖人によっておよそ700年前に開基された日蓮宗総本山久遠寺は全国から多くの参拝者が訪れており、その総門から三門までの約1kmに亘って60件もの飲食店やおみやげ店が軒を連ね、参詣客を楽しませています。

【駅前しようにん通り】

身延山の玄関口でかつては賑やかな人通りがあった商店街も近年

客足が遠のき、町の玄関口としての魅力も薄れ、老朽化してきたため、平成8年に「平成の都」としてレトロな雰囲気です統一された明るい駅前通りに生まれ変わりました。

和風をイメージした街並みを創りだすために、「地区住民全員で「地区建築申し合わせ協定」を結び、家並みを統一し、まちのあちらこちらにさまざまな工夫を凝らしました。

土地区画整理事業、道路の整備、河川の整備、上下水道の整備、商店街の整備、駐車場の整備が行われました。

【観光】

合併したことにより、3町村別々だった観光資源が融合され、大きな企画ができるようになりました。民間、商工、町が連携して取り組んでいます。



身延駅前を視察

【道の駅・富士川ふるさと工芸館】
周辺の観光・道路情報コーナーと、地場産品販売コーナーを備えた道の駅に、近隣町村が共同で運営している、陶芸・ガラス・和紙などの創作体験ができる工芸館が併設されています。豊かで広大な公園とさまざまな体験ができる施設が整備されていて、一日中多くの人で賑わっています。

【農業を活かしたまちづくり】
首都圏から近いため都市との交流事業が盛んで、しいたけ採り体験、茶摘み体験、山菜まつり、大豆オーナー制度、枝豆収穫体験など、数々の体験型観光ツアーを実施しています。



身延町役場にて研修

全国森林環境税創設促進
議員連盟定期総会に出席

とき 7月10日
ところ 埼玉県秩父市農園ホテル

国民生活と切り離すことのできない、森林・林業施策の強化と、山村の振興、国土の保全を図るための財源措置を求め、また、全国の関係機関の一層の連携強化を目的として、全国から230名の出席のもと、事業計画や予算について審議されました。

【記念講演】

「森と水の力を未来につなぐ」

講師 秩父市長 栗原 稔氏

間伐材の木片（チップ）を燃料にして発電する「ちちぶバイオマス元気村発電所」や「みどりの基金」などの事例が紹介されました。将来の子供たちに良好な環境を引き継ぎ、地域の自然環境を生かした循環型システムができるよう取り組んでいます。

臨時会

5月29日

◆一般会計補正予算 おもな内容

歳入

- ・ 慧日寺資料館、金堂共通入場料
1107万1千円増

歳出

- ・ 老人保健特別会計繰出金
50万2千円増
- ・ 交通警備等委託料
602万6千円増
- ・ 慧日寺資料館トイレ改修費
120万円増

◆専決処分事項の承認

磐梯町税条例の一部を改正する条例

地方税法の法律、施行令及び施行規則などの改正に伴い、寄附金税額控除や公的年金からの町民税の特別徴収などについて改正されました。

◆過疎地域自立促進計画の変更

町道本寺下寺西線工事、史跡内人道橋整備及び観光案内板設置などを追加するものです。

◆老人保健特別会計補正予算 おもな内容

歳入

- ・ 医療給付費増額に伴う交付金、
国県支出金、一般会計繰入金等
602万円増

歳出

- ・ 医療給付費
535万3千円増
- ・ 高額医療費
66万7千円増

臨時会

7月18日

◆一般会計補正予算 おもな内容

歳入

- ・ 慧日寺資料館入場料
734万4千円増
- ・ 道の駅用地売却収入
876万円

歳出

- ・ 税源移譲による町県民税還付
精算金
400万円増
 - ・ 採血器具誤使用による感染検査委託料
45万円増
 - ・ 薬師橋ライトアップ工事費
290万7千円増
 - ・ セツ森若者等定住推進事業費
予算組み替え
1240万円
 - ・ 史跡案内マップ、パンフレット、ポストカード印刷費
222万4千円増
 - ・ 慧日寺資料館写真展器具購入費
172万円増
 - ・ 金堂内展示スクリーン設置委託料
150万円増
- 農業委員会委員の推薦
- 磐梯町農業委員会委員の議会推薦（学識経験を有する者）について2名の方を推薦することに決定されました。

足利忠江氏（大寺四区）



金田善憲氏（法正尻）



議会の動き

5 月

- 7日… 議会広報委員会
- 8日… 町国際交流協会総会
- 11日… 第二小運動会
- 14日… 北会津地区PTA連絡協議会総会
- 20～21日… 町村議会議長・副議長研修会
- 20日… 議会広報委員会
- 23日… 会津総合開発協議会総会
会津若松地方土地開発公社理事会
- 24日… 第一小運動会
- 28日… 町勤労者互助会総会
- 29日… 臨時議会・議員全員協議会
町シルバー人材センター総会
- 30日… 町身体障害者福祉会総会
猪苗代地区防犯協会連合会総会
町青少年健全育成町民会議総会

6 月

- 1日… 消防協会猪苗代支部幹部大会
- 3日… 県町村議会議長会総会
- 10日… 議会運営委員会
- 11日… 町交通対策協議会総会
- 13～19日… 6月定例会
- 15日… 厩嶽山祭
- 18日… 北会津両沼地方育樹祭
- 20日… 会津耶麻町村議会議長会
- 26日… 町高齢者スポーツ大会
- 30日… 議会広報委員会

7 月

- 2～3日… 広域市町村圏整備組合行政調査
- 6日… 町消防団消防操法競技大会
- 8日… 会津総合開発協議会県要望活動
- 9～11日… 議会議員行政視察調査
- 18日… 臨時議会・議員全員協議会
- 25日… 町サッカーフェスティバル
- 28日… 会津地域緑資源整備推進協議会総会

※各種団体会合等の出席については省略させていただきます。

議長杯ゲートボール大会！



開 会 式



ハッスルプレー

8月6日（水）晴天のもと、7チームが熱戦を繰り広げ、参加者は和気あいあいのなか心地よい汗を流しました。

議会議員チームも参加し、楽しいひとときを過ごしました。

優 勝 本 寺 チ ー ム
準優勝 布 藤 チ ー ム
3 位 横 達 チ ー ム

編集後記

国民の生活に係わる道路特定財源の暫定税率が3月末期限切れ、4月からガソリンが一時、25円値下がり4月末には、また暫定税率が復活し、さらに原油価格の高騰で、年内には一当り2000円台になりそうです。

また、電力、ガス、食料品の値上げ等、家計を直撃し負担は一段と増すばかりで、国民は生活しにくい状況にあります。更には、最新のニュース、新聞等を見ますと暗い話題ばかりで将来が不安になるばかりであります。

しかし、その中で磐梯町は明るい話題を全国的に提供しました。史跡慧日寺跡金堂復元が完成となり、学僧徳一が開いた慧日寺は、会津仏教文化の発祥の地として信仰を集め、千二百年前の平安時代の至宝がよみがえりました。

今後は、会津の観光スポーツとして、自然及び文化の名所として磐梯町が、注目をあびることは確実であります。

（文責 六澤 勝俊）